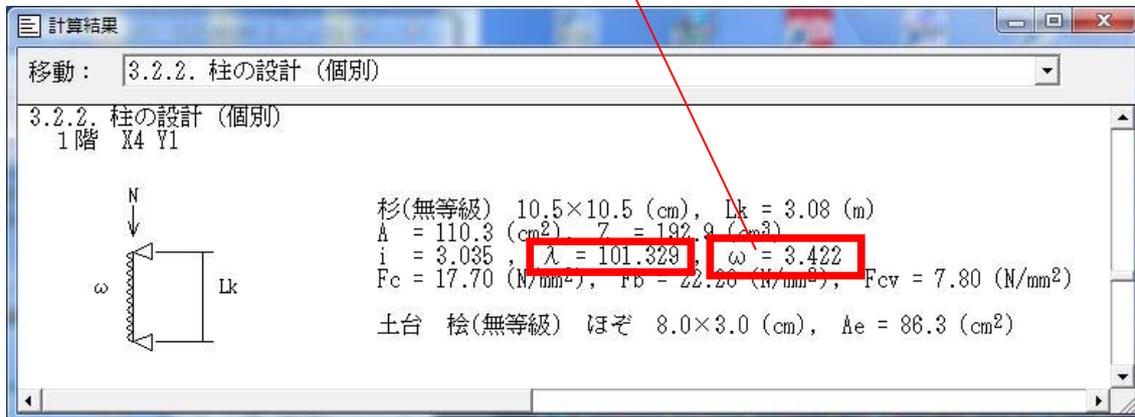


質疑：柱の設計（個別）に【 ω 】なる記号があります。
 住木センター許容応力設計（ネズミ本）にはありません。
 ω は、なんなのでしょう？

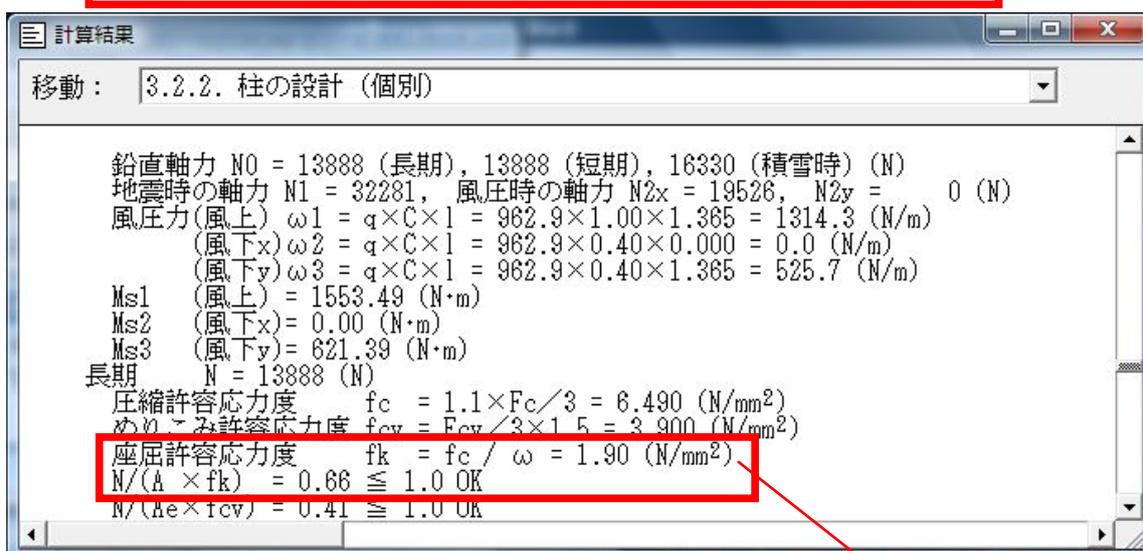


回答：柱の座屈に関わる法令を確認します。

- ① 令第43条（柱の小径）【仕様規定】
- ② 定める構造計算：平12告示1349号（木造の柱の構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件）
- ③ 第1024号第1第一号ロ（圧縮材の座屈の・・・）【許容応力度計算】

使用している記号の説明

- Lk：部材座屈長さ A：断面積 Z：断面係数
- i：断面2次半径（= $\sqrt{I/A}$ ） I：断面2次モーメント
- λ ：細長比（=Lk/i）
- ω ：座屈係数[座屈低減係数 η の逆数： $1/(3000/\lambda^2)$]



【 ω 】は、[座屈許容応力度： fc/ω]算出に使用します。

$\lambda = 101.329 \rightarrow 1 / (3000 / 101.329 \times 101.329) = 3.422 \dots$

座屈許容応力度
 座屈検定値